

ぼくの母国語

向井豊昭

夕やけがひろがると

ぼくの心に

雲のような紙がひらぬき

未知の言葉があぶりだされる

トパク チヌリ

モルヒリ モルヒイ

トラサ トラサ

スワンシ カタキリ

うるこのように ~~き~~ ^いき光らせ

この言葉を

ぼくはただ感じる

チユウラ サバラキ

オツクン オオスカ

ミツヒタ クロケル

サワン アツパン

「夕やけだあ！」

空に言葉をまきちらし

子どもたちの足が

渚におどる

足もとをえぐる

波のうねりー

あの足もとを

ぼくは言葉はえぐれるか

カツク タラツク

ナサハ ツリント

シルカ ヒロアイ

チヤラ フンテツ

車窓の景色の
シヤクシヤインの首が

血をふいたのは

あの足もとか

この足もとか

東郷妻地新居場所と

松藩藩をゆるがせた

烽起 ^火 ~~斬り~~ ~~斬り~~ ~~斬り~~ ~~斬り~~

空は血で燃えたきった

ア尼克 トウマン

ピスケ ピリアク

タイタラ ポクネ

チヌウリ キサツク

アイヌ語で

タヤケは

ニシ ウファイ

へ空が燃える

という

血のうちよせる空の下で

その日 人々は

「ニシウファイ！」

と叫んだろうか

言葉は重く頭上を打ち
足は重く波をえぐったことだろう

サパン ルイパル

オツケン ハツトウ

ハヤン カイカル

ウツテン サツトウ

4

あぶりだされる言葉は

アイ又語ではない

ニシ ウファイという

たつた一つの言葉さえ

その肉声肉くみを知らない

アイ又語辞典を読み全ねこも

~~化~~けの皮かわがしおない

~~まのち~~ ~~まのち~~ ~~まのち~~ ~~まのち~~ ~~まのち~~ ~~まのち~~ ~~まのち~~ ~~まのち~~ ~~まのち~~ ~~まのち~~

アエウ クント

カツチ フリスカ

スマツト タラスキ

フエツチ キユウイ

~~コラシメ~~

空に言葉をまきちらし

子にもたすの足が

清におとる

ムサ(愛撫)と名づけられたかもしれぬ

女の子よ

コラシメ(神々ら賜わった音)

と名づけられたかもしれぬ

男の子よ

ミツタ クネルト

サツハ サラサル

フニタラ サツト

アエバル トツチ

女

ほくの母国はニッポン

ほくの母国語はニッポン語

ほくはニッポンの

~~ヤン~~ コーだ

ミツタ フリリツ

サツタ マオンネ

フミツタ パリリア

ネニン タントル

タヤケガ

ほくの

も 隠れた母国語を

あふりたす

フヨン ウシチキ

マサク ハツトウ

キタン ウチンテ

ペラサ パツチウー...